

人権だより

No.8 発行日 R1.12.13



今月の人権標語

大丈夫 絶対あなたは 独りじゃない

「ヲタクに恋は難しい」

保健体育 河野 和正

近々、公開される映画のタイトルです。原作は漫画でアニメにもなっていて、映画は実写版となっています。最近よくあるパターンですね。内容はタイトルそのもので、BLヲタクの腐女子と、ゲームオタクの男性との恋愛ストーリーです。BLとはボーイズラブ、つまり男性同士の恋愛を扱った小説や漫画などです。女性のほうはヲタク気質が原因で元カレとは別れているので、ヲタクということを隠そうとしています。男性はヲタクを隠す気もないけど、「恋愛はゲームの中だけで十分ですなあ」といったタイプ。こんな二人の恋愛模様を描いています。これ以上はネタバレになるので書きません。

しかし、ヲタクやBL、腐女子とか、ひと昔前なら表に出てこない言葉がごく自然に使われるようになってくるのにも驚きです。「腐女子」とか、その意味もさることながら、そのまま読めば「くさったじょし」ですからね。「ヲタク」という言葉も以前は、「気持ち悪い」とか「ちょっと怖い」とか「ゆがんでる」みたいなネガティブなイメージが強かったのに、今では6割以上の方が「マイナスイメージはない」と答えているようです。やはり、漫画やアニメが海外に誇れる日本の文化とする認識が定着したことが大きな要因でしょうか。実際、日本を訪れている外国人の中には、アニメやその主題歌で日本語を学んだ方は多いようですからね。日本でも海外ドラマで外国語を学んでいる人が多いのと同じですね。

そもそも「ヲタク」の定義は？と思ったので、ちょっとググってみました。ウィキペディアにも「明確な定義があるわけではなく、現在はより広い領域のファンを包括しており、その実態は一様ではない。」となりました。しかし、「マニア」と「ヲタク」の違いについては、「スクール革命」というテレビ番組で、言語学者である金田一秀穂先生が「マニアとは、一つの物事に熱中する人のこと。オタクは一つの事にしか関心を持っていない人のこと。」と話されていたようです。

「ヲタク」という言葉が使われ始めた1970年代は「一つの事にしか関心を持っていない人」がごく少数だったから、その人たちのこと、そしてその行為が理解できない多くの人が、不安で不快なマイナスイメージを持ってしまったんでしょうね。漫画の中のセリフに「自分が好きになれないものを全部批判してたたいてる奴って周りが楽しそうにしているのがうらやましいのよね 結局」「理解できないとかいって、理解する気もないくせに」というのがありますが、少し心当たりがあるようにも思います。「好きになれないもの」、「理解できないもの」を怖がって排除するより、共感して理解していくほうがよっぽど楽しくなれそうですね。

☆ みんなの声 ~前回の人権だよりを読んで~ ☆

<生徒からの声>

- 自分が成長するためにはやはり努力することが大事だと思いました。他人と比べて悪いところばかり見るのではなく、良いところを見つけて成長できたらいいなと思います。
- 学校にいと、順位や差がしっかり見えてきてしまい、どうしても比べずにいられないので、他人と比べる必要はないという言葉で、少し心が軽くなりました。
- 自分の可能性を信じることは簡単な事ではないけれど、学生の間でいろいろなことに挑戦して、たくさん失敗しても成長していきたいです。見た目だけでなく、人間性も良い方向に伸び続けることのできる人でありたいです。
- 努力をしてきたからこそその結果だなと思いました。自分に向いているかは関係なく、努力することはとてもかっこ良いことだと思います。自分も何事にも努力して取り組めるようになりたいと思いました。
- 「高校生たちは伸びる」「君たちも伸びる」という言葉は私たちにとってもありがたい言葉であると感じました。伸び悩んでいる高校生は多いと思うので、自分を信じてがんばろうと思いました。

<保護者からの声>

- 中学から部活動に入っってがんばっています。熱心にはしていますが、なかなか思うような成績が残せずにいます。まだまだ伸びることを楽しみに部活動、勉強をがんばってほしいです。
- 高校生に限らず、子どもは伸びる力を持っていると感じたことは今までにもあります。運動などは継続していくことで大きな変化を感じて驚かされます。技術面だけでなく、精神面での成長も見られ、親としてはうれしさを感じることができます。

きりとり

【保護者用】

今月の人権だよりを読んでの感想をお願いします。 ※締切り 12月20日(金)

()年 保護者

きりとり

【生徒用】

今月の人権だよりを読んでの感想をお願いします。 ※締切り 12月20日(金)

()年 ()組